



日本共産党

市議会議員(高津区)

石田和子

の活動報告

待機児ゼロへ 認可保育園の増設 待ったなし!

認可保育園に申し込んでも入れなかった方々から切実な声が寄せられます。入所保留児(不承諾)の方々に区役所が、認可外保育施設への入所を勧め、入所が確保されると待機児にカウントしないという「待機児童」の考え方を改めること。低いランクでも、入所を必要とするすべての子どもが入れる保育園の整備にひきつづき全力で取り組みます。

高津区の認可保育園入所状況 増え続ける入所不承諾数

	利用申請 児童数	内定数	入所 不承諾数
2013年度	1210人	806人	404人
2014年度	1319人	825人	494人
2015年度	1487人	938人	549人
2015年度 全市合計	8565人	5892人	2736人

*毎年2月初旬時に市が発表

4月からの新制度で 現行基準を後退させるな!

昨年9月議会で石田議員は、「子ども・子育て新制度」へ移行した後も、保育園、小規模保育・家庭的保育(0歳~2歳児)など新制度の保育施設でも、保育士、栄養士、看護師など専門職を認可保育園と同じ基準で配置・加配し、保育の質を確保すべきと要望。新年度、加配の予算がつかしました。

子育て・介護 安心の川崎・高津へ 市政を動かす

危険な「溝口交差点」 信号機の改良など安全対策 が実施されます

国道246号線と409号線が交差する「溝口交差点」では、車と歩行者・自転車を巻き込む重大事故が発生し、住民のみなさんと一緒に安全対策を求め、横断歩道が直線になり、照明灯も設置されました。

2014年3月議会で石田和子議員が「交通安全対策と渋滞対策を整合させた対策」を求めて検討が約束されていましたが、このほど信号機の改良により、歩行者と車の安全対策と渋滞緩和策が図られることになりました。課題と改善方法は以下の通りです。



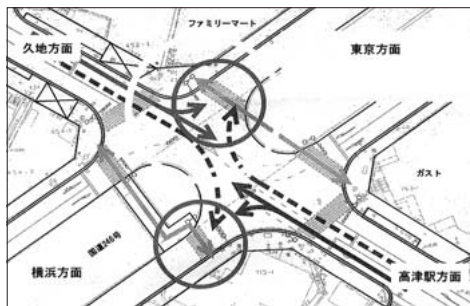
住民のみなさんと道路公園センターに改善要望

課題①

車と横断歩道を通行する歩行者等が交錯し(下図)、久地方面へ渋滞が発生。また歩行者や自転車が巻き込まれる重大事故が発生。

改善方法

信号機の改良で車両と歩行者等の 通行時間を分離します



改善前の状況

歩行者等が通行する時間は、車は横断歩道を通行できないようにし、また車が通行する時間は歩行者が通行できないように信号機を改良する。



課題②

国道246号の側道からの右折車同士の接触の危険性。(下の写真)

改善方法

東京方面と横浜方面からの 信号サイクルを完全に分けます

東京方面からの車が通行する場合には横浜方面からの車を通行できないようにし、また、横浜方面からの車が通行するときは東京方面からの車が通行できないように改良する。



改善前の状況

市内で最も少ない 高津区に特養老人ホーム増設を

「2017年度開所にむけ、 3月中に事業者選考」

現在、市内50カ所・4105床の特別養護老人ホームに対して待機者は5396人(昨年10月時点)にも。議会質問で石田和子議員は、特に高津区は特養ホームが市内で最も少ないと指摘し、増設を

くり返し求めてきました。

3月議会での質問に、健康福祉局長は「2017年度の開所に向け民有地を活用した設置運営法人の選考作業を進めているが、高津区など優先する地域への応募に対し、一定のインセンティブを与えたいと3月中に選考する」と答えました。

川崎市議選(4月12日)

日本共産党川崎市委員会
電話044-211-3731

日本共産党の見解を紹介します。
川崎市川崎区砂子2-8-1-401

2015年3月号外





石田和子

高津区

日本共産党
市議会議員

いしだ
かずこ

身近に役立つ人を市会へ

住民にやさしい駅への改善、
安全で住みよいまちづくりに全力

津田山駅の 橋上駅舎化

早期整備 に全力



住民のみなさんと一緒にJR東日本と交渉（2008年）

津田山駅の橋上駅舎化事業について川崎市は「今年度中に工事着手し、平成29年度末の工事完成」と議会答弁していましたが、突然、1年延期すると発表。石田和子議員は「延期の理由とスケジュールの見直し、エレベーター設置についてJR東日本との協議はどうなっているのか」と質問。まちづくり局長は、「地盤状況が悪く所要額が大幅に増加の見込みとなり、工法の検討を行うなど事業費の削減に向けた検討をしている」「JRとは今回のスケジュールの見直しを

踏まえ、早期の整備にむけた協議を行ってまいります。

JRからは津田山駅のエレベーター設置の施行時期が市内で唯一未定なので、橋上駅舎化の事業に合わせて早期にバリアフリー化を実現したいと伺っている」と答弁しました。

「早期整備に向けてJRと検討・協議を」と強く要求

石田議員は「地盤軟弱はJRも本市もわかりきっていたこと」と指摘。その一方で新年度、JR南武支線（仮称）小田栄新駅整備の予算が突然ついたが「住民要望の強さと、ここまで取り

組みが進んでいたことからすれば、津田山駅を予定通り進めるべきだ」と主張し、「早期整備に向けた検討と協議をJRも含め着実に進めるよう強く要望」しました。

東急溝の口駅・大井町線側ホームに ホームドア設置へ 2015年度中

溝の口駅利用者の方々から、ホームドア設置の要望が寄せられ、3月、まちづくり局長に質問書を提出。「今年度から1日の乗降者数が10万人以上の駅を対象に補助制度を創設し、今年度は東横線武蔵小杉駅、来年度は大井町線溝の口駅

への設置に対して補助を行ない、ホームドア設置を促進する」「東急電鉄は2020年を目標に市内の全駅にホームドアを設置することが公表された。その他の鉄道事業者にも要望を行なっている」との回答がありました。

買い物に便利な時間利用駐輪場が オープン 高津中央病院の裏側

3月1日、高津中央病院裏の駐輪場（市営武蔵溝口駅北口第3駐輪場）の一部が、買い物利用などに対応した時間利用に変更してオープン。収容台数は87台（自転車のみ）、利用料金は最初の2時間無料、その後2時間ごとに100円。24時間の料金の上限は500円。石田議員が、日中と休日の放置自転車が多いことから議会で対策を求めています。



●プロフィール
静岡県出身、障害児入所施設や川崎市立保育園などで保育士31年。市議4期16年、現在、党市議団副団長。保育園増設など子育て支援を一貫してリード。福祉の充実、駅の改善などまちづくりに尽力。



高津区役所で昨年10月・11月に提出した要望書への回答を聞き、懇談する石田和子議員ら。

市民アンケートで寄せられた地域要望 高津区役所から回答がありました

回答があった要望は、●溝口ドンキホーテの隣の道路を市民が使えない●溝口駅付近の駐輪代金が24時をまたぐと2日分とられる●大山街道大石橋、高津駅入口交差点の横断歩道部分の傷み補修を●久地駅前踏切近くの道路の傷み補修を●諏訪交差点の勾配と路面の傷み補修と安全対策●高津と宮前の区境の通学路に通学時間帯の一方交通などの安全対策●246号線から身代わり不動交差点に入る道路の拡幅一など。（回答の詳しい内容は石田和子ホームページをごらんください）

石田和子

検索

石田和子議員の主な活動地域… 下作延、向ヶ丘、溝口、久地、宇奈根、末長4丁目、坂戸、久本、二子、下野毛、瀬田、北見方、諏訪